



東南アジアにおけるエコ・シティの推進

2013年10月20日 北九州市

プログラム

場所：北九州国際会議場

言語：同時通訳（日/英）

モデレーター：国連工業開発機関（UNIDO）エコ・シティ専門家 ヤン・ディクタス

14:00 開会

開会挨拶： UNIDO 事務局次長 西川 泰藏

来賓挨拶： 外務省 地球規模課題審議官 香川 剛廣

プレゼンテーション「UNIDOのエコ・シティ推進に向けた取り組み」

UNIDO 工業開発官 ルードヴィック・ベルノーダ

UNIDO では、東南アジア地域における環境に優しい都市づくり（エコ・シティ）の知見や事例を共有し、地域・産業・企業を含めたネットワークづくりを推進しています。政府レベルで高い目標と志を掲げた今、画期的な解決策を協働して見出すことが技術者・政府職員・都市計画担当者の役割といえるでしょう。エコ・シティの概念を実現させるために、都市には中・長期的な戦略が必要です。また民間企業には技術を提供するだけでなく革新（イノベーション）を生み出すことが求められています。この点で、UNIDO のグリーン産業政策は効果的な戦略といえます。

本イベントはエコ・シティを目指す都市や企業が成功事例や課題等を発表し、持続可能な都市のありかたや都市間ネットワークの促進について様々なケースから互いに学びあうことを目的としています。

本セッションは3部のフォーラムで構成され、東南アジアの主要都市でエコ・シティの推進に携わるパネリストを迎えて、日本の環境技術や先進国の取り組みについても紹介しながら、すべての人が共生できる持続可能な産業開発について活発に議論を行います。

14:25 フォーラム1： エコ・シティとしての要件

グリーン都市、エコ・シティ、持続可能な都市、住みやすい都市などを目標とする様々なイニシアティブがありますが、都市によって置かれた状況や抱える問題は様々で、可能性や優先順位も異なります。共通するのは、現在そして未来において、そこに住む市民に質の高い生活環境を提供し続けようとする高い志です。そして、このような都市では高い志を得るために画期的な解決策を見出しています。フォーラム1では、エコ・シティを実現するために必要な政策や中・長期的な戦略を含め、エコ・シティとしての要件について議論します。

パネリスト：

- ダナン市（ベトナム）：ダナン人民委員会気候変動調整部長 クオン・カン・ディン
- 横浜市（日本）：横浜市温暖化対策統括本部 企画調整部 環境未来都市推進担当部長 吉野 議章
- 北九州市（日本）：副市長 松崎 茂
- ウィーン市（オーストリア）：UNIDO エコ・シティ専門家 ヤン・ディクタス

質疑応答



15:05 - 15:25 休憩

15:30 市長挨拶 北九州市長 北橋 健治

15:35 フォーラム2: エコ・シティにおける産業の役割

教育、雇用、住居、娯楽などは、住みやすい都市であるための重要な要素です。産業は、雇用を創出して経済的な繁栄を都市にもたらす一方、環境に負の影響ももたらします。環境法によって、企業が都市から立ち退くと同時に雇用機会も失われます。その解決策として、グリーン産業は、環境に悪影響を及ぼすことなく、雇用創出や経済繁栄を同時にもたらすと言われています。経済発展か環境保全かという微妙なバランスの中で、グリーン産業は現実的な最善策といえるのか、また都市はどのような政策を進めればよいのか、フォーラム2で議論します。

パネリスト:

- セブ市（フィリピン）：セブ市環境委員会議長 ニダ・コルビン・カブレラ
- アムステルダム市（オランダ）：UNIDO エコ・シティ専門家（元アムステルダム市環境サービス局長） ニック・フレデリクス
- マーパタープット工業団地（タイ）：タイ工業団地公社(IEAT) 環境開発部長 ブッパ・カウインバシン
- 株式会社安川電機、北九州市（日本）：システムエンジニアリング事業部 システム工場 社会・環境システム技術部 環境システム技術課長 平林 和也

質疑応答

16:15 フォーラム3: CO₂削減のための技術導入の可能性と行政の役割

人やモノの輸送や住宅が、気候変動の原因となる二酸化炭素（CO₂）の主な発生源と言われ、新たな輸送技術、低公害車、環境配慮型建設技術や建材などが、一つの解決策となると考えられます。CO₂削減の即効薬ともなる新しい技術の可能性、またそうした将来の技術開発に向けて行政が果たすべき役割について、フォーラム3で議論します。民間企業にはより素早く持続可能な都市づくりを推進するために、イノベーションによる変革が求められます。今後の可能性を見出し発展させるためにはグリーン産業政策は不可欠であり、全ての人が享受できる持続可能な産業発展をもたらすと考えられます。

パネリスト:

- イスカンダル開発地域[IRDA]（マレーシア）：副代表 ファッド・サレ
- 福建省平潭包括パイロット地域（中国）：副局長 チョウ・キンソン
- TOTO 株式会社、北九州市（日本）：ESG 推進部 部長 重永 佳己
- シャボン玉石けん株式会社、北九州市（日本）：代表取締役社長 森田 隼人

質疑応答

16:55 まとめ／閉会挨拶 UNIDO 事務局次長 西川 泰藏

【お知らせ】

UNIDO のセッションの後（17:15～）、北九州市北橋健治市長より、「北九州エコマンスにおける国際会議・フォーラム」全体のまとめとして、メッセージがありますので、会場にてお待ちください。